

ベトナムに活路を見出す (株式会社 エイゾー)

会社概要(平成24年9月現在)

- 所在地: 埼玉県八潮市南後谷669-1
- 代表者: 代表取締役会長 松村 栄三
代表取締役社長 松村 康信
- 資本金: 8,000万円
- 売上高: 25億円
- 従業員数: 110名
- URL: <http://www.eizo-co.co.jp/profile.htm>

①事業概要

<靴製造・販売>

株式会社エイゾーは、昭和34年創業の高級婦人靴製造会社で、ファッション性の高い婦人靴を得意とし、企画開発力・技術力に優れている。海外・国内の一流ブランド(ダイアナ、リーガル、ニューバランスなど)のOEM生産を行う一方、SPA型企業を志向し、自社ブランド(エイゾー、シュショテ、ビューなど)を開発、全国の有名百貨店に展開している。現在、年間生産約40万足。

②海外展開概要

<ベトナムにおける現地法人設立>

製靴業は、ファッション性や季節・流行等の変化に伴う商品のモデルチェンジが多いため、機械化が難しく、熟練した職人が不可欠な産業である。しかし、日本国内では職人の多くが70歳を超える一方、技術を継承する人材を確保できていないため、今後事業を継続する上で極めて深刻な事態となっている。そこで、人材が確保しやすい場所に生産拠点を移すことを検討し、平成18年にベトナム・ホーチミン市に100%出資の子会社(EIZO VIETNAM CO., LTD.)を設立した。裁断から製甲、底付けまでの一貫生産の設備を備えており、近年完成品の生産数量は日産600足に及ぶ。ここでは日本の本社向けの製品を加工・製造している。

③成功要因(活用した支援策を含む)

同社の成功の要因は、現地法人の人材育成に公的な補助が得られる(財)海外産業人材育成協会(以下、「HIDA」)の制度を効果的に活用していることが挙げられる。

同社は、まずHIDAの専門家派遣制度を利用して、本社の社員をベトナムに派遣した。そして、現地法人の社員に5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)を徹底させることで、金属片等の異物混入を大幅に削減した。また、不良を減らすための技術指導を行い、日本で手直しする割合を半減させることにも成功した。

次に、HIDAの研修制度を利用して現地法人の社員を日本に受入れて研修を行った。これは、製靴技術や品質管理手法を身につけさせるだけでなく、日本のものづくりの考え方を理解させることを目的としており、生産性の向上にも大きく貢献している。

こうした人材育成を続けている中、幹部候補に育ってくる社員も出てきており、現在では彼らに本社の考え方を理解させる目的でもこの制度を活用している。

④今後の事業展開について

現在、ベトナムの現地法人では日本の本社で扱う製品の約35%を製造しているが、今後はこの比率を上げて、同社の主力生産拠点とする方針である。ベトナム工場へ単に生産を移管するのではなく、プラスオンすることによって当社へのニーズが高まり、得意先との絆が一層深まるものと考えている。



ベトナム工場の生産ライン

(平成24年9月現在)

データ出所: (財)海外産業人材育成協会(HIDA)